

生物科学学会連合 第 28 回定例会議 議事録

日 時：2023 年 12 月 19 日（火）15:00～17:00

場 所：東京大学農学部 弥生講堂アネックス セイホクギャラリー

東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学弥生キャンパス内

出欠状況：

出席（加盟団体）： *印は兼任または重複出席者を示す。

運営委員

東原 和成*（生科連 2023-2024 代表）

後藤由季子（生科連副代表） 宮下 直（生科連副代表）

小林 武彦* 片山 豪* 原田 慶恵

団体代表

土畑 重人（個体群生態学会）

田辺 秀之（染色体学会）

東原 和成*（日本味と匂学会）

菱田 卓（日本遺伝学会）

高橋 昭久（日本宇宙生物科学会）

大和田祐二（日本解剖学会）

小根山千歳（日本細胞生物学会）

岩崎 秀雄（日本時間生物学会）

野口 航（日本植物学会）

野崎 久義（日本植物形態学会）

古賀 皓之（日本進化学会）

尾藤 晴彦（日本神経化学会）

宮田麻理子（日本神経科学学会）

坂上 和弘（日本人類学会）

仁科 博史（日本生化学会）

石川 麻乃（日本生態学会）

片山 豪*（日本生物教育学会）

西坂 崇之（日本生物物理学会）

南沢 享（日本生理学会）

中川 敦史（日本蛋白質科学会）

寺北 明久（日本動物学会）

喜田 聡*（日本農芸化学会）

丹羽 隆介*（日本発生物学会）

鎌田真由美（日本バイオインフォマティクス学会）

永田 崇（日本比較生理生化学会）

神田 真司（日本比較内分泌学会）

岡部 聡（日本微生物生態学会）

岡田 由紀（日本分子生物学会）

伊村 智（日本分類学会連合）

井手 竜也（日本分類学会連合）

諫田 泰成（日本薬理学会）

（計 30 団体）

欠席（加盟団体）：日本実験動物学会 日本植物生理学会 日本組織細胞化学会 日本免疫学会

（4 団体）

（加盟合計 34 団体）

出席：大路 樹生（自然史学会連合）

喜田 聡*（令和 5・6 年度会計監査委員）

丹羽 隆介*（令和 5・6 年度会計監査委員）

宮下 直*（令和 3・4 年度会計監査委員）

五十嵐和彦（日本学術会議基礎医学委員会委員長）

小林 武彦*（日本学術会議基礎生物学委員会委員長）

門脇 孝（日本医学会）

道上 達男（JBO 運営委員長）

岸本 健雄（国立沖縄自然史博物館設立準備委員会）

（敬称略、加盟団体名 50 音順）

事務局 東海 春香

議題・報告：

1. 代表挨拶
東原代表より、第 28 回定例会議開催にあたり挨拶が述べられた。
2. 前回議事録確認について
第 27 回定例会議議事録（案）が確認され、原案通り承認された。
3. 令和 4 年度会計報告について
事務局より資料に基づき令和 4 年度決算報告について、ほぼ例年通りの決算内容となったと説明がなされた。引き続き、宮下直会計監査委員より 8 月 22 日に宮下直、大杉美穂両会計監査委員による会計監査が行われ、監査の結果、正確妥当なものであると報告がなされた。
4. 令和 6 年度事業計画について
東原代表より、資料に基づき令和 6 年度事業計画について、定例会議（春期はオンライン、秋期は対面）、運営委員会、パンフレット作成、各種委員会活動、シンポジウム、関連団体との連携、協力、その他本連合が必要と認めた事業を行うと説明がなされた。
5. 令和 6 年度予算案について
事務局より資料に基づき令和 6 年度予算案について、昨年同様の内容で作成しているが、令和 5 年度開催分のシンポジウムが日程の都合上、令和 6 年 1 月開催となったため、令和 6 年度はシンポジウムが 2 回されることとなり、活動費の予算が昨年より増えていると説明がなされた。審議の結果、令和 6 年度予算案は原案通り、承認された。
6. 関連国際会議について
東原代表より、資料に基づき今後開催される関連国際会議について説明がなされた。その他、周知したい情報がある場合、事務局宛に連絡して欲しいと依頼がなされた。
7. IBO・JBO（国際生物学オリンピック）について
道上達男国際生物学オリンピック日本委員会運営委員長より、国際生物学オリンピックについて、7 月 3～11 日に UAE のアル・アインで開催され、金メダル 2、銀メダル 2 と好成績を収めたと報告がなされた。また、日本生物学オリンピックについて、7 月にオンラインにて予選を実施、8 月に静岡大学にて本選を実施して日本代表候補 12 名を選出したと報告がなされた。
8. 研究費・人材育成委員会について
後藤副代表（委員長）より、資料に基づき科研費増額要望のための署名について説明がなされた。出席者より署名依頼文について、具体的な金額の記載や署名目標等意見交換がなされた。審議の結果、科研費増額要望のための署名を実施することが承認された。署名依頼文については、いただいた意見を基に修正し、メール審議となる旨、説明がなされた。具体的な署名方法については継続審議となった。
続いて、後藤副代表（委員長）より、科研費増額要望のための署名に関連して、若手研究者からの 10 の提言について、紹介がなされた。

9. 生物教育・大学入試問題検討委員会について
片山委員長より、大学入学者選抜試験問題作成上の留意点について作成の経緯と内容について説明がなされた。また、来年度の入試に取り入れていただきたいとのことで来年4月に加盟団体の意見を聞いた後、高等学校教育機関等に送付すると説明がなされた。続いて、高等学校の生物教育における教育用語集の作成について現在、教育用語集案を作成しており、解説集の作成も予定していると説明がなされた。
最後に、第5回生科連シンポジウムについて、令和6年の2回目の定例会議と同日に「魅力ある生物教育をどう実現するか―高校生物の新しい方向性について―」というテーマで開催すると説明がなされた。
10. 地球生物プロジェクト委員会について
宮下副代表（委員長）より、第5回高校生生きものの“つぶやき”フォトコンテストについて、応募総数が351件、30名（31作品）が優秀賞となり、12月中にホームページ上で結果発表を行うと報告がなされた。また、高校生生きものの“つぶやき”フォトコンテストの周知方法について、意見交換がなされた。
続いて、令和6年1月20日に第4回公開シンポジウム「現代のナチュラルヒストリー研究：その挑戦と課題」が対面とオンライン配信で開催すると説明がなされた。
11. 第27回定例会議後の活動状況について
東原代表より資料に基づき、第27回定例会議以降、要望書の提出が2件、調査依頼が1件、後援・サポートレターが3件、周知依頼が7件、その他1件（生物科学学会連合案内パンフレット作製）の活動を行ったと報告がなされた。
12. 日本学術会議について
小林基礎生物学委員会委員長より、10月に第26期会員・連携会員が任命され、新しい執行役員が就任した旨報告がなされた。また、日本学術会議の法人化案が内閣府より提案され、現在議論中であると報告がなされた。
続いて、生科連でも議論されている生物教育における教育用語集について、日本学術会議から改訂版生物教育における教育用語集を発信する予定があるとの説明がなされた。
13. 国立沖縄自然史博物館の設立活動について
岸本健雄国立沖縄自然史博物館設立準備委員会代表理事より、資料に基づき国立沖縄自然史博物館の設立に向けた取り組みの進捗状況について報告がなされ、引き続き加盟団体への協力依頼がなされた。
14. その他
染色体学会より染色体カレンダーの周知がなされた。

以上